

ポンプ消耗部品交換手順書

< V6-C >

(株)扶桑工業

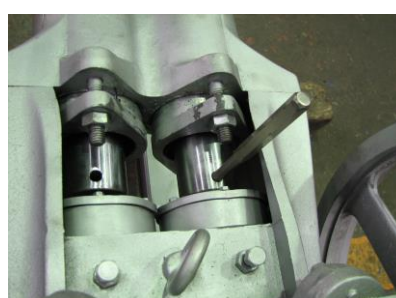
1. プランジャの交換要領

(1) ギヤケース部とシリンダ部の分離

- 1) ポンプに接続されている、サクションホースとデリバリーホースを外します。
- 2) シリンダケースとベースをつないでいるボルト (W1/2×20 平21) 2本を外します。
- 3) スパイラルパッキンを締め付けているパッキングランドのナット (W1/2) を緩めます。



- 4) Vプーリを手で回し2本のプランジャをそれぞれ1往復以上させ、スパイラルパッキンの締め付けを開放してからプランジャとクロスヘッドの接続ピン (スプリングピン) を上から叩ける位置で止めます。
- 5) スプリングピンφ10を叩いて抜きます。このときピンポンチφ10×150をご使用になると便利です。
- 6) Vプーリを手で回しもう片方のピンが抜き易い位置にきたら止め、前と同様の方法でスプリングピンを抜きます。



- 7) 2本のピンが抜けたらVプーリを手で回し、クロスヘッドが2個共クロスヘッドライナの中に入った位置で止めます。このときプランジャが共に引張られるときはスプリングピン孔にピンポンチ又はドライバを入れ、プランジャは残してください。



8) ギヤケースとシリンダの接続ボルト4本 (W1/2×65 平21) を外し、テーパピンをギヤケース側からシリンダ側へ叩いて抜きます。



9) シリンダ部をベース上から外し安全な場所に移します。



(2) プランジャ、スパイラルパッキンの取り出し

1) プランジャ2本を抜きとります。



2) パッキングランドを外し、中のスパイラルパッキンを出します。



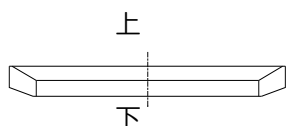
3) シリンダケースの内部を、きれいな水で洗浄し泥土や砂などを除きます。

4) シリンダケースのバルブ側を下にして全体を縦置きにし、下部に角材などを敷き安定させます。



(3) プランジャ、スパイラルパッキンの組み込み

1) リング状のパッキンガイドを図のように挿入したら、プランジャをシリンダケースの中に入れます。



パッキンガイド



2) スパイラルパッキンの切り口を180° 反対にして交互に4枚入れます。スパイラルパッキンが所定の位置に入るまでドライバなどで1枚ずつ丁寧に押し込み 最後はパッキングランドを入れ軽く締め付けてください。



3) シリンダケース端面（ギヤケースとの接続面）からプランジャ端までの寸法を90～100mmになるようプランジャを引き出します。プランジャ穴にグリースを塗布してください。



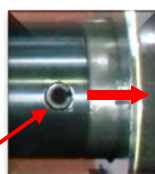
4) Vプーリを手で回し、左右のクロスヘッドがクロスヘッドライナの中に入る位置で止めます。



5) シリンダ部をギヤケースにボルトで接続します。（ボルトを締める前にテーパピンをしっかりきかせ芯を出してください。）



6) Vプーリを手で回し、クロスヘッドがライナから出てきたらプランジャ穴にクロスヘッド先端を入れそのままプーリを回します。プランジャが押されるようでしたらスプリングピン孔にドライバなどを入れクロスヘッドを端面まで挿入しスプリングピンを打込んでください。同様の手順でもう一方を組込みます。



スプリングピンの割れ間が、クロスヘッド側に向くようにして下さい。

7) 2本のプランジャの接続が済んだら、パッキングランドを軽く締め付けてください。（締め付けナット1.5～2回転、約3～4mm）最終的な締め付けは送水時に漏れ具合を見ながら調節してください。（[7]運転操作 5.ポンプの始動の項を参照ください）



8) ポンプベースにシリンダ部、ギヤケース部共に本締めをします。

2.バルブシートの点検と交換要領

- 1) チャンバを締め付けているナット（W1” 平41）を外してチャンバをとり、 2) バルブボックスをとり、中のスチールボールを出します。



- 3) シリンダケース内のスチールボールをとり出します。
スチールボール表面が著しく錆びていたり、凹凸が見られたりした場合は交換をしてください。
- 4) バルブシートのシート面が磨耗したり欠けたり、虫食い状態になっている場合は交換してください。



- 5) バルブシートの取り外しは、バルブシート引抜き器（オプション販売）をご利用になると便利です。引抜き器のボルトをバルブシート内側のねじにはめ込んでプレートをかぶせ、平ワッシャを敷きナット（M30 平46）で締め付けてゆくとバルブシートが抜けます。

Ⓐ



Ⓑ



Ⓒ



Ⓓ

